

〔Ⅰ〕 次の文章を読み、下の間に答えなさい。

インターネットが私たちの情報入手手段として非常に重要なツールとなって久しいが、近年インターネットから得られる情報の^{びよう}信憑性やその取り扱いについて考えさせられる事例が起きている。

2008年の米大統領選挙は「フェイスブック選挙」とも呼ばれ、選挙活動におけるSNSの活用が注目された。また、2010年～2012年頃に起こった「アラブの春」という民主化への動きでも、動画共有サイトやSNSへの投稿が重要な役割を果たした。抑圧や報道への規制により取り上げられない声を広く伝えることができたことで、これらは概ね^{おおむ}好意的に捉えられてきた。しかし、近年の欧米の国政選挙では、極端な国粋主義的・排外主義的な思考傾向をもつ候補者がインターネットを利用し、現状の政治に不満を持つ人々の支持を集めた。その結果、マスメディアの予想と大きく異なる結果も生じた。この動向に大きく影響したのがインターネットで流れる「偽ニュース」であったと考えられている。

現在、多くの人々がインターネットを使ってニュースを得ている。米国では約6割の人がフェイスブックなどのSNSでニュースを得ており、その半数は、ニュースの情報源をまったく把握していないとの調査結果がある。そのような傾向が一般的であるとすれば、インターネットの情報の特性を考え合わせると、

ア 傾向が強まるかもしれない。

極端な過激思想や「偽ニュース」の大規模な拡散には、「ボット」と呼ばれる投稿を自動化するプログラムが関与している場合があるといわれている。^(a) ツイッターのアカウントの1割を越える数千万ものアカウントが「ボット」であるとの分析もある。こうした大量のアカウントが、特定の利用者やニュースサイトに自動的に反応し、膨大な数の投稿をするとすれば、その投稿を見た人は、特定の意見が **イ** であるように考えるかもしれない。すなわち、 **ウ** の危険がある。米大統領選挙の際には、政治団体や個人が「ボット」により、特定候補者への^{ひぼう}誹謗中傷を拡散させたとも報じられている。

わが国では、個人の情報拡散のための道具という観点では、2011年の東日本大震災以降、大規模災害の際のSNSによる救助要請が注目されてきた。^(b) 国は

SNSが災害救助に有効だとして活用の仕組みが必要との報告書をまとめたが、実現にはいたっていない。実際にSNSによる情報の拡散で命が救われる事例があるものの、デマ情報かどうかの見極めが難しいという問題がある。

インターネット上の情報をめぐっては、わが国では近年「まとめサイト」が問題となった。「まとめサイト」とは、あるテーマについて関連する複数のサイトのウェブページの内容を整理し、まとめて提供するサイトのことである。ひとつのテーマについて、自分でいくつものウェブページを閲覧して調べるよりは「まとめサイト」のほうが簡単に調べることができるため、多くの人々が「まとめサイト」を利用している。しかし、インターネット上に散在する情報を集約・編集して提供する際には、配慮が必要な点^(c)があり、配慮が不十分であると、信憑性の欠如や、他人の知的財産権の侵害が生じることがある。

SNSへの不適切な投稿をめぐっては、深刻な人権侵害に及ぶ事件も起きている。ドイツに住むシリア難民の男性が自身のフェイスブック上の写真を悪用され、テロリストであるかのような偽のニュースが作られ、拡散した事例が生じた。男性は、人権が侵害されたとして、フェイスブックに写真の削除と拡散防止のための技術的措置を求めて裁判を起したが、フェイスブック側は、すべての写真の削除は困難で、拡散を防ぐことはできないと主張した。2017年3月に下された判決では、難民男性の主張は認められなかった。

また、SNSはテロ活動の勧誘に用いられるなど過激思想を持つ団体に悪用されていると批判を受けてきた。これを受けてフェイスブックは2017年6月に、最新技術^(d)を応用してテロ対策などに取り組むと発表するにいたった。ただし、インターネット上の不適切な投稿の取り扱いについては慎重な意見も多く、簡単に解決することは難しい。^(e)

私たちは、有害情報やデマにあふれる状況の改善に向けて努力しなければならない。また、同時に、得られた情報の信憑性・信頼性について考え、情報の取捨選択を行わなければならない。

学習指導要領 (1) - 知・技 - ウ
学習指導要領 (2) - 知・技 - ア
学習内容 (1) - ウ 情報技術と情報社会
学習内容 (2) - ア メディアとコミュニケーション

(問 1) 前後の文章の趣旨を考え、空欄 **ア** に入る最も適切な文章を次の

①～④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 複数の立場の見方に容易にアクセスできるようになるので、自ずと物事の考え方が客観的になる
- ② 情報源についての偏見がなくなるので、公平な立場で物事を判断できるようになる
- ③ 情報の主な発信源はマスメディアであるから、信憑性の高い情報にアクセスできる可能性が高まる
- ④ 関心のあるものだけを断片的に読むことができるから、自分にとって都合のよい情報だけを無批判に受け入れる

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ
学習指導要領 (2) - 知・技 - ア
学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル
学習内容 (2) - ア メディアとコミュニケーション

(問 2) 下線部(a)に関連する記述のうち、最も不適切なものを次の①～④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ボットによる営利活動のための投稿は、消費者の誤解をまねく危険が大きいので、ボットによる投稿であることを示す題名を付けなければならない。
- ② ボットによる投稿は、少数派の見解を広範囲に知ってもらう重要な手段であると考えられる。
- ③ ボットは多数の投稿を生み出すことができるので、自社製品の認知度を高める工夫として企業などで用いられる場合がある。
- ④ ボットによる投稿を防ぐため、画像で表示された文字を利用者に入力させる手法がある。

学習指導要領 (1) - 知・技 - ウ
学習指導要領 (2) - 知・技 - ア
学習内容 (1) - ウ 情報技術と情報社会
学習内容 (2) - ア メディアとコミュニケーション

(問 3) 空欄 **イ** , **ウ** に当てはまる最も適切な語句の組み合わせ

を下の①～⑥の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|--------------|---------------|-------|
| A. 抑圧された少数意見 | B. 世間での一般的な意見 | |
| C. 多様な意見の現れ | D. 情報格差 | |
| E. 情報操作 | F. 情報公開 | |
| ① AとD | ② BとE | ③ CとF |
| ④ AとE | ⑤ BとF | ⑥ CとD |

学習指導要領 (2) - 知・技 - ア
学習指導要領 (2) - 思・判・表 - ア
学習内容 (2) - ア メディアとコミュニケーション

(問 4) 下線部(b)に関連して、大規模災害の際に SNS で「拡散」可能な情報について、マスメディアの情報と比較した場合の長所と短所を簡潔に述べなさい。

学習指導要領 (1) - 知・技 - イ
学習内容 (1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

(問 5) 下線部(c)に関連して、インターネットで情報を発信する際に留意すべきこととして最も適切な記述を次の①～④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① インターネット上の情報は、公開された以上、共有されるべきものであり、受け手のだれにでも著作権法にいう「複製権」があるから、自由にコピーや編集して投稿してかまわない。
- ② インターネット上の情報は、公開された以上、共有されるべきものであり、受け手のだれにでも著作権法にいう「公衆送信権」があるから、自由にコピーや編集して投稿してかまわない。
- ③ まとめるにあたり参考にしたインターネット上の情報にはそれぞれ知的財産権があるので、引用する場合には適切な慣行にしたがって行なう必要がある。
- ④ 医療情報など重要な話題については専門家の監修を受けることが望ましいが、情報の信憑性や信頼性は利用者が判断すべきであり、監修に時間をかけるより、できるだけ多くの情報を短時間で発信した方が役立つ。

学習指導要領(1) - 知・技 - ウ
学習内容(1) - ウ 情報技術と情報社会

(問 6) 下線部(d)の最新技術として期待されているものとして最も適切なものを

次の①～⑥の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|--------|----------|----------|
| ① IoT | ② GPS 捜査 | ③ 生体認証 |
| ④ 電子署名 | ⑤ 人工知能 | ⑥ フィンテック |

学習指導要領(1) - 知・技 - イ
学習内容(1) - イ 法・情報セキュリティ・情報モラル

(問 7) 下線部(e)に関連する記述のうち、最も適切なものを次の①～④の中から

1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① SNSで公開範囲を「友だちのみ」にした場合、たとえサービス提供者であっても利用者の投稿をチェックできない。
- ② 膨大な投稿をすべて監視することは困難なので、不適切だとの通報を受けた場合には個別に対処せざるを得ないことが多い。
- ③ 不適切な投稿であっても、公開範囲を限定すれば閲覧できる人が限られるため、それ以上に広まることはない。
- ④ 不適切かどうかの判断は難しいが、違法かどうかは明らかであり、現在でも違法なものは自動的に判別され、投稿できないようになっている。